

「呼吸器系疾患」中、肺炎で亡くなる方は、50～60%です。

⑤肺炎を未然に防ぐ「未病」の考え方の研修会の開催を。

研修等の機会を通して広めていきたいと思っています。

★子育て支援の充実について①他の自治体と比べ具体的な充実度は。

育児用品のおむつ、チャイルドシートの購入助成、ゴミ袋の支給、インフルエンザ予防接種の無料化等の経済的支援です。

「鏡野町」のとり支援事業も今年度はさらに制度を拡充し、所得制限を撤廃し、一般不妊治療も助成対象です。

②さらに充実させる点について、町長の所見は。

ライフステージに応じた施策を担当課という垣根を越えて展開していく必要があると考えます。

③対象者となる子育て世代のニーズの把握は。

次期計画策定の際に、アンケート調査を実施する予定です。

★定住化の促進について①予算的にどの様なものがあるのか。

「人と地域をつなぐ鏡野町案内人事業」、「田舎暮らし体験事業」、「鏡野町新卒者等ふるさと就職奨励金事業」、「空き家改修補助金」、「空き家片づけ補助金」、「津山圏域内企業の情報発信事業」、「新規卒業者等地域企業説明会等参加助成金交付事業」などです。

②北部地域に定住助成を新たに設けるべきと考えるが、町長の所見は。

助成金という観点で考えるなら、現在実施している未来希望基金などの取り組みを進展させる事の方が大切だと考えます。

③豪雪地帯には生活に用いる燃料費の助成があると聞くが、降雪量に連動して助成費は変化するか。

上齋原財産区で区長が認めた場合のみ、個人での除雪が不可能な高齢者や障がい者の住宅の除雪に対し、財産区特別会計からの補助金が出ています。降雪量に連動して助成費の変化はありません。

④移住希望者の問い合わせ件数と移住実現件数の過去2年間の実態は。

町への相談件数は、平成27年度は81件、平成28年度は125件です。移住実現件数が27年度は8戸14人、28年度は23戸37人です。

⑤移住希望者のニーズに合った情報提供とサポートはできているか。

「人と地域をつなぐ鏡野町案内人事業」の中で、かがみのツーリズム研究会と協働で移住定住業務を行っています。移住相談も休日を開わず受け付け、就職相談にも乗り、継続して相談業務を行っています。

⑥移住者お試し住宅の計画は。

昨年度、寺元地内の旧獣医師住宅を改修し整備しました。整い次第議会に提案します。

⑦農家民宿の開業講習会の開催を。

町民の皆さんから開業の相談等

ありましたら、対応します。

⑧移住後に不安を抱えている人と自営業で後継者不足のマッチングという考えはないか。

後継者不足や過疎化による経営上の問題等、課題は多くあります。国や県とも連携し産業全体の担い手を確保し、定住にも繋げたいと考えます。

★地方創生について①総合戦略の概略は

全ての町民が健康で住み続けることができる「鏡野町」を実現するため、国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、県の「おかやま創生総合戦略」を勘案し、人口減少問題を克服し、町が持続的に発展するための道筋を示すものです。

②総合戦略実施後の状況や成果や今後の課題は。

計画策定から1年8か月の現段階では、目に見えて成果がでるところまでできていません。今年度、平成28年度までの事業を検証し、その段階で判明することもあると思います。

★健康づくりと人口増加策をどう位置付けて取り組むのか。

町民が元気で住み慣れた地域で安心して過ごすことが、健康寿命や平均寿命の延伸につながり、人口の減少対策になると考えます。

★当初予算編成の重点施策との位置づけは。

前年度実施した施策の行政評価の結果に基づき、翌年度に最も優先的に重点投資し、さらに成果を向上

させる必要がある施策を決定しています。

★観光施策と健康づくりとの位置づけは。

独立した施策ではなく、全ての分野と連携しています。

健康の維持には、歩く、体を動かす、山菜や野菜を多く食べることで

現在、建設中の上齋原地域トレッキングコースを歩く、森林の中で呼吸するセラピープログラム、ファンライドやsea to summitで自転車に乗る、恩原高原スキー場でスキーやボードを行うなど、見るだけではなく、自分の体を動かし、体験、体感することで、健康づくりとも繋がると考えます。

平成29年7月会議  
(7月28日)

7月会議が開かれ、条例制定と平成29年度補正予算と工事請負契約の締結について審議されました。

条例の制定

▼鏡野町お試し住宅条例の制定について

：移住の推進及び人口の流入を促すことを目的とし、町への移住希望者に、町での生活を一時的に体験する施設を提供するため。公布の日から施行。

(原案可決)

平成29年度補正予算

一般会計 (原案可決)

補正額 555万円

予算総額

117億8550万5千円  
内容は次のとおりです。

＜農林水産業費＞

特用林産物生産施設整備事業

555万円

工事請負契約の締結

契約の目的

北部衛生クリーンセンター焼却施設等解体工事

工事場所 鏡野町井坂地内

契約金額 1億7236万8千円

契約の相手方

岡山市北区幸町6-1-7

戸田建設株式会社岡山営業所

所長 松浦伸行

契約の目的

大野放課後児童クラブ新築工事

工事場所 鏡野町円宗寺地内

契約金額

1億919万7072円

契約の相手方

鏡野町竹田719

株式会社山本工業

代表取締役 山本哲也

契約の目的

鏡野町立南小学校プール改築工事

工事場所 鏡野町古川地内

契約金額 1億7010万円

契約の相手方

鏡野町香々美801

株式会社鏡水

代表取締役 水島 大

(以上、3件原案可決)